

## 平成30年度 学校運営連絡協議会実施報告書

### 1 組織

- (1) 都立小山台学校 学校運営連絡協議会（全日制制課程）
- (2) 事務局の構成 副校長、庶務・広報部主任、経営企画室長 計3名
- (3) 内部委員の構成  
校長〔協議会会長〕、副校長、経営企画室長、主幹教諭（教務部主任）、主幹教諭（生徒部主任）、主任教諭（進路部主任）、主幹養護教諭（保健部主任）、主任教諭（庶務・広報部主任） 計8名
- (4) 協議委員の構成（氏名の掲載も可）  
大学教授（学識経験者）、教育研究所副代表（卒業生保護者代表）、同窓会副会長（卒業生代表）、公益財団法人事務局長（関係団体代表）、品川区立中学校長、大田区立中学校長、品川区立小学校長（以上近隣小中学校長3名）、PTA会長〔協議会副会長〕、PTA副会長（以上保護者代表2名） 計9名

### 2 平成30年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第1回～第3回）の開催日時、会場、出席者、主な議題等  
＜第1回＞平成30年7月5日（木）午後3時30分から午後5時まで 校長室にて  
（出席）外部委員8名、内部委員・事務局8名  
（主な議事）協議委員の委嘱及び自己紹介、学校経営概要説明、校務運営状況及び平成30年度1学期教育活動報告、校務分掌各部からの報告、評価委員選出、意見交換・協議  
＜第2回＞平成30年11月15日（木）午後3時30分から午後5時まで 校長室にて  
（出席）外部委員6名 内部委員・事務局7名  
（主な議事）校務運営状況及び平成30年度2学期教育活動報告、校務分掌各部からの報告、平成30年度学校評価アンケート実施方法及び内容について、意見交換・協議  
＜第3回＞平成31年3月6日（水）午後3時30分から午後5時まで 校長室にて  
（出席）外部委員7名、内部委員・事務局8名  
（主な議事）校務運営状況及び平成30年度3学期教育活動報告、校務分掌各部からの報告、平成30年度学校評価アンケート集計結果と今後の学校評価の集約について、学校評価に対する意見交換、協議
- (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他  
＜第1回＞平成30年7月5日（木）午後3時から3時30分まで 校長室にて  
（出席）外部委員1名、内部委員2名  
（主な議事）評価委員長候補の選出、昨年度学校評価結果の分析・考察、今年度学校評価実施予定確認・内容検討、協議  
＜第2回＞平成30年11月15日（木）午後3時から午後3時30分まで 校長室にて  
（出席）評価委員1名、内部委員2名  
（主な議事）学校評価の観点・項目、学校評価アンケートの内容・質問文の検討、実施時期の確認  
＜第3回＞平成31年3月6日（水）午後3時から午後3時30分まで 校長室にて  
（出席）外部委員2名、内部委員・事務局2名  
（主な議事）学校評価アンケート集計結果の確認、課題の整理

### 3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) 学校評価の観点及び評価項目等
  - ・「授業等の学習に関すること」「学校生活に関すること」「学校の実践に関すること」について、教職員、生徒、保護者、地域関係者の回答を比較できるように設問の内容をそろえて実施した。
  - ・経年変化を見るため、基本的に前年と同様の項目としているが、質問内容がより明確になるよう文言の修正を行った。また、「働き方改革」に関する項目を追加した。
  - ・アンケートの質問への回答は、前年度に引き続きマークシート方式とした。
  - ・評価項目は、授業、教科間連携、学習指導、学校生活、進路情報、生活指導、行事、部活動、国際交流、施設・設備、情報公開、満足度、学校運営、働き方改革、いじめ、体罰等、23項目である。

(2) アンケート調査の実施時期、回答数／対象、回収率

- ・ 12月中旬 全校生徒 953人／955人 回収率：99.8%
- ・ 12月下旬 保護者全員 766人／955人 回収率：80.2%
- ・ 12月中旬 地域・住民 125人（前年より34名減）
- ・ 12月下旬 教職員 60人／60人 回収率：100%

(3) 評価結果の概要（校長や学校全般への意見・提言内容）

○学習活動、指導体制について

- ・ 授業の進度やレベルに関する項目では、生徒の肯定的回答の割合が25%に達している。
- ・ 授業研究に関する項目では、教職員の否定的回答の割合が25%に達している。
- ・ 教科間連携の項目では、教職員、生徒、保護者とも肯定的回答が6割以下であり、教職員の否定的回答が5割を超えた。

○学校生活について

- ・ 学習と班活動の良質に関する項目では否定的回答が増加し、教職員4割、生徒3割、保護者2割を超えている。
- ・ 生活指導の項目では、教職員、生徒とも2割程度が否定的回答であった。
- ・ 行事や班活動の項目では、教職員、生徒、保護者、地域とも肯定的回答が9割を超えている。

○その他

- ・ 施設設備の項目では、否定的回答が年々増加し、生徒では65%が否定的回答であった。
- ・ 情報公開の項目では肯定的回答の割合が低く、特にHPについては否定的回答が3割弱であった。
- ・ 満足度に関する項目では、生徒、保護者とも概ね9割前後が肯定的回答であった。
- ・ 働き方改革に関する項目では、地域、保護者、生徒ともわからないという回答が4割以上あった。教員は6割弱が否定的回答であった。

○記述式意見

- ・ 記述式意見の数は376件（教員7件、生徒159件、保護者200件、地域10件）であった。
- ・ 保護者からの意見は、学校生活73件、施設32件、授業21件、進路18件であった。生徒からの意見は、学習46件、施設45件、学校生活39件であった。

(4) 評価結果の分析・考察（校長や学校全般への意見・提言）

○学習活動、指導体制について

- ・ 課題量や授業の楽しさなどの改善を進めてほしい。
- ・ 学校評価アンケートのQ3の教職員間の連携については、教員間の連携が取れていないことが生徒にも伝わっているようなので、ぜひ改善してほしい。
- ・ 進路面談を組織的に実施するよう考えてほしい。

○学校生活について

- ・ 国際交流の推進に関する項目については、生徒の否定的な割合が2割を超えている。今後の対策を考えてほしい。
- ・ 自転車通学のヘルメット着用を義務付けてほしい。
- ・ 生徒のメンタル面の支援を強化してほしい。

○情報発信について

- ・ 自己肯定感の高い学校は地域活動をよくしている。小山台も地域ともっとつながってほしい。
- ・ 昨年度は、HPの改善を求める声が多かったが、改善の取り組みを進めた結果、一定の評価をする声が見られた。
- ・ 学校の状況や学校生活の様子は、保護者には伝わりにくい。伝え方を工夫してほしい。
- ・ 学校行事や進路指導などについては、中学生の保護者からは理解しにくい部分がある。説明を工夫してほしい。

○学校評価について

- ・ 概ね固定的な評価であるが、個々の課題については、生徒、保護者とも改善を求める声が少なくなかった。授業改善や組織力向上を推進するため、教職員の連携を強めていく必要がある。

#### 4 学校運営連絡協議会の成果と課題（学校の自己評価への反映）

(1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- 進学指導特別推進校として、生徒、保護者、地域（近隣中学校等）の進学指導の充実に対する期待に応えるため、更なる学習環境の充実、授業改善、生活指導・進路指導とキャリア教育の充実、進学実績の向上、教育課程の見直し等について、組織的計画的に実践していく必要性を改めて認識した。

(2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- 学校の特色化を一層鮮明に打ち出すことが、中学生やその保護者にとっての高校選びの明確な指標と考え、国公立大学への進学を目指す学校として広報活動を充実させてきた。ホームページや学校説明会等、あらゆる機会を活用して、学校行事、進路指導やキャリア教育等についても生徒・保護者・地域等にわかりやすく説明する必要があると認識した。
- 学習と班活動・学校行事等との両立は、本校の生徒指導の根幹に関わるものである。授業改善を進め生徒の学習意欲を高める授業作りを進めるとともに、教科間の連携を密にし、課題量や小テストの調整を組織的に行う体制を確保することが急務である。また、同時に班活動の在り方についても考えていく必要があり、学校全体が有機的につながり、生徒の学習と班活動・学校行事との両立を組織的に支援する体制を整備することが重要であると認識した。
- 生徒の学校生活が円滑でより良いものとなるよう、生徒理解や支援の方法等について、さらなる研究が必要であることを認識した。

## 5 「学校が良くなった」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員人数 9人

(2) 学校が良くなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
1	2	3	0	0	0	3

- ・ 昨年度の様子がよく分かっていませんし、本年度も3度ほどおじゃました程度ですので、次年度から小学校との連携を強化していく中で、良さを改めて見出してまいります。
- ・ 当校の学校評価はかねてから高いレベルにあり、それが概ね維持されていることは学校運営が引き続き良好な状況にあるものと考えられるが、自由意見記述を参考に改善点への対応をお願いしたい。
- ・ 高いレベルで現状維持をしていると思いますが、トイレの改修、施設の老朽化等、ハード面で環境が悪化していると感じます。
- ・ 先生、外部委員、PTAと、皆さん生徒のため、学校がよくなるためというスタンスでの発言のみで、非常に有意義であった。
- ・ 生徒さんの自由路を高める工夫が必要であると考えます。

## 7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

【実績】 職員会議 なし 企画調整会議 なし

## 8 その他

- ・ 学校評価については、評価項目の再検討を行うことも考える。